

(株)ヨシズミプレス

絞り加工技術確立の系譜と、 それを生かしたさらなる飛躍へ

ヨシズミプレスは、1950年にケトバシ（足踏み式プレス）プレス1台で操業を始めた創業70年を超えるプレス加工メーカー。小物・微細のプレス加工を得意としており、弱電部品・文房具部品（ペンなど）が加工品のメインを占める。創業から抜きや複雑な曲げとカシメの複合加工を得意としてきたが、2000年より絞り加工の技術確立に挑戦。20年経った現在では、同社の中核技術

として評価されている。同社の加工事例とともに、技術確立までの経緯を聞いた。

忘れがたい初めての「極小絞り加工」

「このままではいけない、絞りに挑戦してみないか。と助言を受けたのが2000年。そこから20年、なんとか技術をものにすることができました」

そう振り返るのが、吉住専務取締役。絞り加工に挑戦し、社内に技術を根付かせた中心人物だ。同社は創業後、金型内製化の技術を獲得。ちょうどそのタイミングで大手電子メーカーの電池端子の受注に成功し、一気に成長。一時は加工品の8割を小型の端子など通電部品が占めた。当時は純ニッケル材などの品質の安定には各社苦勞していた時代だが、同社はいち早く同材料の抜き曲げ加工の品質安定にも成功。取引先に評価されてきた。

しかし、2000年前後には多くの電子部品の加工が海外工場に渡ってしまう。今まで確立してきた抜き・曲げ加工だけでは新たな受注を得ることが難しくなってきたのだ。

そんな矢先、山梨県にある金型加工メーカーから、「絞り加工に挑戦してみてもどうか」と助言を受けた。技術確立のきっかけにしてもらえばいいと絞り加工の試作を受注。吉住専務が同企業に住み込みで技術を学ぶことになった。

受注したのはあるメガネのヒンジ部品。素材はステンレスで板厚は0.2mm。土台部分の全長は5mmで絞り高さは3mm。絞りの径は0.5mmで、土台部分両端にはバーリングが施されている（写真1）。従来は切削シャフトとプレート部分を

プレス技術

会社概要

会社名 (株)ヨシズミプレス
代表者 吉住 巖
所在地 〒131-0043 東京都墨田区立花 4-28-2
TEL 03-3612-7541
資本金 1,000万円
従業員数 18名
事業内容 文房具、電子部品などのプレス加工、簡易レベラなど自社製品開発・販売

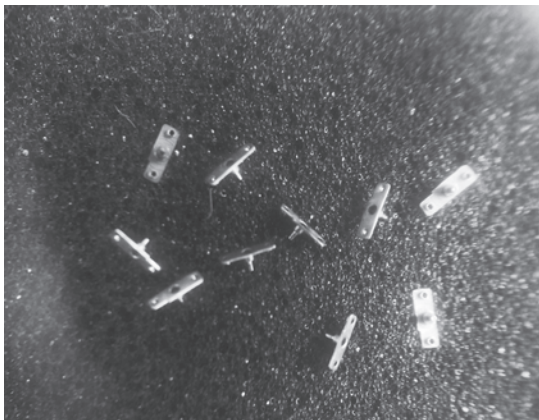


写真1 メガネのヒンジ部品。初めて挑戦した絞り加工部品